

平成 28 年度

第 38 回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

山形県東南村山地区大会

第 36 回 全国学童野球大会山形県山形地区（兼）

東南村山地区予選会

## 大会要項

1. 主催 山形県野球スポーツ少年団協議会東南村山支部

2. 後援 山形地区野球連盟

3. 協賛 山形県民共済生活協同組合

4. 大会日程

(1) 開会式：

○「第 38 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会山形県東南村山地区大会」  
⇒ 5 月 2 日 午前 9 時 00 分～ 流通センター野球場

○「第 36 回全国学童軟式野球大会山形県山形地区（兼）東南村山地区予選会」  
⇒ 前記大会と合同実施

(2) 会場

流通センター野球場・西部運動広場・立谷川運動広場・鋳物運動広場  
中山町民グラウンド・ほなみグラウンド 他

(3) 競技日程

5 月 3 日・4 日・5 日・7 日・8 日  
(予備日) 14 日・15 日

(4) 閉会式

○「第 38 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会山形県東南村山地区大会」  
⇒ 競技終了後最終日会場において閉会式及び表彰式を行う。

○「第 36 回全国学童軟式野球大会山形県山形地区（兼）東南村山地区予選会」  
⇒ 実施しない

5. 大会役員

会 長	荒井 満
副 会 長	工藤 俊二・松田 耕一・山川 浩二・山川 彰夫
理 事 長	東海林 道哉
大会委員長	清野 敏寛
大会委員（理事）	梅津 裕・鈴木 勝・長谷川 裕一・村山 良一・ 伊藤 淳・渡部 秀実・佐藤 武雄・橋本 剛・羽島 俊男・ 大圖 洋介・清野 義夫・大木 孝浩・高橋 哲也 杉山 和光・矢萩 美宏・高橋 貴裕・金子 将之 高橋 光夫・酒井 栄治

運営委員	各登録団で大会参加団より1名
審判員	各団登録公認審判員 及び山形地区野球連盟審判部所属審判員

## 6. 参加資格

- (1) 本年度スポーツ少年団登録を済ませていること。
- (2) 代表指導者はスポーツ指導者認定指導員資格を有していること。かつ複数の認定指導員を有していること。
- (3) スポーツ傷害保険に加入済みであること。

## 7. チーム編成

- (1) 監督1名、コーチ2名、および選手20名以内の小学生とする。
- (2) 監督、コーチ、選手は同色同意匠のユニフォーム及び同色のスパイクを着用し、ユニフォームの背番号は0～30を付けること。但し、監督は30、コーチは29・28、主将は10、必ず指導者章・団員章を肩袖部分等に着用すること。  
監督・コーチの予備として指導者を2名まで登録ができる。交替の際はメンバー用紙交換の際に申告することとし、引き継ぎ背番号も申告のこと。当初登録の代表指導者が交替する場合は交替代表指導者を明示すること。
- (3) 大会申込書に記入の選手の保護者1名をチームの引率責任者としてチームと同じ帽子着用のうえ、ベンチへ入ることを認める。なお、予備引率者として1名を登録し、引率責任者に代わることができる。

## 8. 競技規則及び大会特別規則

- (1) 現行の公認野球規則に準ずる。但し、一部本大会特別ルールを定める
- (2) 投手と捕手の距離は16m、塁間距離は23mとする。
- (3) 使用球は公認球C号とする。(試合球は各団より試合ごとに3個持ち寄り)
- (4) 投手は1日7イニングを超えて投球してはならない。
- (5) 試合の審判及び記録は、本大会参加申込みされた監督及びコーチ以外の各チームが指定する登録公認審判員・運営委員によって行なう。審判員は審判該当試合の一試合前の試合時刻まで各会場バックネット裏に集合すること。又、決められた服装で公認登録ワッペンを必ず左胸に着用のこと。
- (6) 審判員は集合時間を厳守のこと。
- (7) 監督・コーチ・選手は金属製のスパイクの使用を禁止する。
- (8) 捕手はマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、ファールカップを必ず着用すること。
- (9) 打者、走者、次打者及びコーチャーは必ず両耳付ヘルメットを着用のこと。
- (10) バットはJSBB表示のあるものとする。なお、木製、ビヨンド等の使用を認める。
- (11) 素振り用の鉄棒(鉄パイプを含む) バットリングは使用してはならない。
- (12) 両大会においてバットンググローブの使用を認める。

## 9. 競技方法

- (1) 試合回数は7回とする
- (2) 試合の制限時間は1時間30分とする。
- (3) 上記規定時間を過ぎた場合は次のイニングに入らない。
- (4) 7回終了又は規定時間の終了時点で同点の場合は特別延長戦を行う。  
回数は1イニングとする。  
なお特別延長戦は投手の投球イニング数には含めない。  
(特別延長戦⇒無死満塁で前回からの継続打者とする。前回最終打者を1塁走

者とし、2、3塁は順次前打順者とする)

特別延長戦で勝敗が決しない場合は抽選により決する。抽選方法は最終イニングの守備選手によって〇×式抽選を行い〇印の多いチームを勝ちとする。

- (5) 試合時間は球審のプレイコールから当該イニングの第三アウト完了時点までとする。
- (6) 3回以降10点差, 5回以降7点差があった場合は、コールドゲームとする。
- (7) 競技中の天候不良等による中止の判断は審判団及び運営委員にて決定する。  
尚、試合の成立は第3イニング終了時点からとする。
- (8) 投手の変化球は禁止する。
- (9) メンバー用紙(協議会で指定したもの)に出場選手名を記入し、前の試合の2回裏終了時(但し、第一試合の場合は30分前)に、審判員に提出のこと。その際攻守の決定を行う。日程及び天候等の状況により開始時間を早める場合もあるので、各団にて連絡員の配置等を行い対処すること。
- (10) ベンチは、組合せ番号の若いチームを1塁側とする。

## 10. 上位大会への選出

- (1) 「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会山形県大会」へは「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会山形県大会東南村山地区大会」の成績上位2団を推薦する。
- (2) 「全国学童軟式野球大会山形県山形地区大会」へは全国軟式野球連盟山形地区連盟が定めたチーム数(例年6チーム)とし、「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会山形県大会東南村山地区大会」の成績上位2チームを推薦し、次に「全国学童軟式野球大会山形県山形地区(兼)東南村山地区予選会」成績上位チームを推薦する。
- (3) 上部大会への進出にあたっては成績上位の団から順次選択できるものとする。

### ※参考

全国スポーツ少年団軟式野球交流大会		全国学童軟式野球大会	
山形県大会(河北町)	6月11日・12日	山形地区大会(山形)	6月4日・5日
東北Ⅱ大会(宮城県)	7月2日	山形県大会(鶴岡)	6月25・26日
全国大会(滋賀県)	8月5日~8日	東北大会(宮城)	8月6日・7日
		全国大会(東京都)	8月7日~13日
		高野山大会(和歌山県)	7月22日~26日

## 11. 規定の変更・追加

- (1) 上記に定めた規定の他に、監督会議の協議により、変更・追加を行う場合があります。各団で伝達等を確実に行ってください。

## 12. その他

- (1) 雨天中止の判断は、当日会場において決定する。
- (2) ベンチ内は飲食(選手への水分補強を除く)禁止・禁煙とする。又、サングラス・色のついている眼鏡等(医師の診断書があれば可)も禁止する。  
各団の責任において自制的こと。
- (3) 大会当日の会場準備のため、各チーム2名の協議会登録審判員は審判の服装で各会場に集合すること。



## ☆ 大会運営委員会からのお願い

- 1、各団におかれましては運営委員・審判員・監督指導者・団員等の開会式に必要な要員の輸送を優先されますよう配慮下さい。駐車場に限りがありますので特段のご協力をお願いします。尚、会場が分散しますので団員及び子供さんの迷子や事故・災害等が無いように充分にご注意をお願いします。
- 2、団の代表者は開会式15分前までに本部のところにある受付にて必ず受付を済ませて下さい。受付の済んだ参加団は運営委員の指示に従い所定の場所に整列させて下さい。尚、団旗・プラカードは忘れず持参ください。
- 3、前回の優勝、準優勝チームは優勝旗・優勝杯・準優勝楯等を忘れず持参ください。
- 4、ベンチ内での飲食（給水を除く）・タバコは厳禁です。ゴミ・タバコの吸い殻は持ち帰りとしますので、ゴミ袋等は各団で用意ください。当該試合終了後すぐ清掃し、ベンチは次の試合のチームに速やかに明け渡してください。
- 5、勝利チームは試合終了後すぐグラウンド整備にかかり、試合進行に御協力ください。
- 6、会場が分かれますので大会要項・審判割当・申し合わせ事項等をよく確認し、チーム内の申し送りや連絡を密にし、各団において遺漏の無いように行動してください。
- 7、毎年紛失物の問い合わせがあります。持ち物には充分留意されるよう各自確認してください。
- 8、相手チームへの野次は禁止です。
- 9、各試合会場においてカメラ等の撮影場所を制限します。各会場の運営委員に確認いただくとともに、観客席内での撮影にご協力ください。
- 10、各項目で「制限」が緩和されておりますが、上部大会へ勝ち進んだ場合にはその大会での規定となりますので、充分にご注意ください。